

本城小学校外2校空調設備設置機械設備工事

M-01	機械設備工事特記仕様書－ 1
M-02	機械設備工事特記仕様書－ 2
M-03	機械設備工事特記仕様書－ 3
M-11	案内図・配置図（本城小学校）
M-12	平面図（本城小学校）
M-13	空調設備 機器表（本城小学校）
M-14	空調設備 系統図（本城小学校）
M-15	空調設備 平面図（本城小学校）

M-21	案内図・配置図・建具表（海上小学校）
M-22	平面図－ 1 （海上小学校）
M-23	平面図－ 2 （海上小学校）
M-24	空調設備 機器表（海上小学校）
M-25	空調設備 系統図（海上小学校）
M-26	空調設備 平面図－ 1 （海上小学校）
M-27	空調設備 平面図－ 2 （海上小学校）

M-31	案内図・配置図・建具表（豊里小学校）
M-32	平面図－ 1 （豊里小学校）
M-33	平面図－ 2 （豊里小学校）
M-34	空調設備 機器表（豊里小学校）
M-35	空調設備 系統図（豊里小学校）
M-36	空調設備 平面図－ 1 （豊里小学校）
M-37	空調設備 平面図－ 2 （豊里小学校）

工 事 名	本城小学校外2校空調設備設置機械設備工事			
図 面 名	表紙・図面リスト			図面番号
銚子市都市整備課	室 長	副主幹	班	M-00
令和 8 年 8 月				

章 項 目		特 記 事 項		章 項 目		特 記 事 項		章 項 目		特 記 事 項		章 項 目		特 記 事 項																																			
●設計用温湿度 ○銅板製煙道 ○ダクト ● ○風量測定口 ○チャンパー ○ダンパー ●配管材料 ○井類 ○温度計 ○圧力計 ○瞬間流量計 ○油面制御装置 ○絶縁継手 ●保温及び消音内貼り	●下表による。 ○（ JIS ）の温度条件による。 <table><tr><th colspan="8">屋 内（調 整 目 標）</th></tr><tr><th colspan="2">外 気</th><th colspan="2">一般系統</th><th colspan="2">温度 (DB)</th><th colspan="2">湿度 (RH)</th></tr><tr><th>温度 (DB)</th><th>湿度 (RH)</th><th>温度 (DB)</th><th>湿度 (RH)</th><th>温度 (DB)</th><th>湿度 (RH)</th><th>温度 (DB)</th><th>湿度 (RH)</th></tr><tr><td>夏 期</td><td>31.4℃</td><td>72.2%</td><td>27℃</td><td>50%</td><td>℃</td><td>%</td><td>℃</td><td>%</td></tr><tr><td>冬 期</td><td>3.2℃</td><td>45.7%</td><td>20℃</td><td>50%</td><td>℃</td><td>%</td><td>℃</td><td>%</td></tr></table> 伸縮継手、掃除口及びばいじん量測定口の位置は図示による。 銅板厚（ ○ 3.2mm ○ 4.5mm ） ○ 低圧ダクト（ ○ コーナーボルト工法（長辺の長さが1,500mm以下の部分） アングルフランジ工法 ○ スパイラルダクト ）とする。 ○ 高圧1ダクトの適用範囲は図示による。 ○ ステンレスダクト及び塩化ビニルダクトの仕様及び適用範囲は図示による。 取り付け箇所は図示による。 (1) 内貼りを施すチャンパーの表示寸法は外法を示す。 (2) 空気調和機に取り付けるサブライチャンパー、レタンチャンパー及びダクト系で消音内貼りしたチャンパーには点検口を設け、点検口の大きさ等は図示による。 (3) ガラリに直接取り付けるチャンパー及びホップバーは雨水の滞留のないように施工する。 (1) 防煙ダンパー 復帰方式(○ 遠隔 ○) 定格入力はdC24V、0.7VA以下とする。 (2) ビストンダンパー 復帰方式(○ 遠隔 ○) (1) 冷温水管 ○ (2) 冷却水管 ○ (3) 油 管 ○ (4) 蒸 気 管 給気管 ○ 還 管 ○ (5) 高温水管 ○ (6) 膨張管、空気抜き管及び膨張タンクよりボイラー等への補給水管 ○ (7) ドレン管 ● (8) 冷媒管 ● JIS 又は JV（ ○ 5K ○ 10K（図示部分） ） ○ 6SA以上の冷温水・冷却水用弁装置の仕切弁はバタフライ弁とする。 ○ 銅管用伸縮継手の種類は図示による。 ○ ステンレス銅管に取り付ける弁類は、ステンレス製とする。 ○ ファンコイルユニットと冷温水管の接続部（注・選）には、ボール弁を取付ける。 ○ ファンコイルユニットには、 ○ 流量調整弁 ○ 定流量弁 を設置する。 取付け箇所は図示による。 取付け箇所は図示による。 取付け箇所は図示による。 なお、瞬間流量計（ ○ 固定型 ○ 着脱型 ）はヒトー管方式とし、止水コック付とする。 制御盤には、（ ○ 給油ポンプ制御 ○ 満油警報 ○ 過隔警報 ○ 漏えい検知警報 ○ 返油ポンプ制御 ○ 減油警報 ○ ）の端子を設ける。 なお、フロッツスイッチ部と制御盤間の配管・配線は製造者の標準仕様とする。 図示の位置に取付ける。 ○ 通りダクトの保温 範囲は（ ○ 図示による ○ ） ○ 外気ダクトの保温 範囲は（ ○ 図示による ○ ） ○ 膨張タンクよりボイラー等への補給水管の保温は、標準仕様書第2編 3.1.4 の温水管の項による。 ○ 建物内の空気抜き管の保温は、標準仕様書第2編 3.1.4 温水管の項による。（エア抜き井以降の配管は、除く） ○ 空気調和機及びファンコイルユニットの排水管の保温は、標準仕様書第2編 3.1.5 の排水管の項による。 ● 冷媒管の保温外装は別表－2による。	屋 内（調 整 目 標）								外 気		一般系統		温度 (DB)		湿度 (RH)		温度 (DB)	湿度 (RH)	温度 (DB)	湿度 (RH)	温度 (DB)	湿度 (RH)	温度 (DB)	湿度 (RH)	夏 期	31.4℃	72.2%	27℃	50%	℃	%	℃	%	冬 期	3.2℃	45.7%	20℃	50%	℃	%	℃	%	○配管材料 ○水栓 ○水量水器 ○水量器類 ○弁類 ○管の地中埋設深さ ○水栓柱 ○建物導入部配管 ○引込納付金等 ○配管材料 ○洗面器等の排水管 ○満水試験継手 ○インパート樹・たぬ樹 ○放流納付金等 ○配管材料 ○弁類 ○保温 ○配管材料 ○屋内消火栓 ○連結送水管 ○屋内消火栓種別 ○屋内消火栓開閉弁 ○保温 ○建物導入部配管 ○不活性ガス消火設備 ○泡消火設備 ○システム ○厨房用熱源 ○機器の機能等 ○ガス種別 ○配管材料 ○充てん容器 ○集合装置 ○転倒防止等 ○メーター ○ガス漏れ警報器 ○漏洩検知装置 ○電気防食 ○引込負担金等 ○バルク貯槽 ○仕様等 ○設備方式 ○仕様等	(1) 一般配管 ○ 架橋ポリエチレン管（XPE） ○ 水抜栓を使用する場合、水栓は固定こま式とする。 （ ○ ただし、屋外に設ける水栓は耐寒水栓とする。） ○ 視メーター（貸与品）（ ○ 直読式 ○ バルス式 ） ○ 子メーター（買い取り）（ ○ 直読式 ○ バルス式 ） ○ 水道事業者指定品（○ 貸与品 ○ 買取り ） ○ 標準図 MC 形 図示の位置に取付ける。 JIS 又は JV ○ 水道直結部分（ ○ 10K ○ ） ○ その他の部分（ ○ 5K ○ ） ○ ステンレス配管を使用する場合の材質はステンレス製とする。 ○ 管の上端より原則として、一般敷地は（ 30cm ） 構内道路は（ 60cm ）以上とする。 ○ 合成樹脂製 ○ アルミニウム合金製 ○ 人造石とぎ出し製 ○ ステンレス製 標準図（建物導入部の変位吸収配管要領）の（ ○ (a) ○ (b) ○ (c) ○ (d) ○ (e) ）による。 ○ 要（ ○ 別途工事 ○ 本工事 ） ○ 不要 (1) 屋 内 汚 水 管 ○ 硬質ポリ塩化ビニル管（VP）○ 雑排水管 ○ 硬質ポリ塩化ビニル管（VP）○ 通気管 ○ 硬質ポリ塩化ビニル管（VP） ポンプアップ排水管 ○ (2) 屋 外 第一樹まで ○ 硬質ポリ塩化ビニル管（VP） 樹 間 ○ 硬質ポリ塩化ビニル管（VP） 洗面器に直結する排水管は、器具トラップより1サイズアップとする。 台所流し等の床土露出部分の配管は、ビニル管（RF-VP）でもよい。 大便秘、小便器、洗面器及び掃除流しとの接続管は、ビニル管（RF-VP）でもよい。 ○ 標準仕様書第2編 2.4.8(5)による。 ○ 図示の箇所に取付ける。 ○ プラスチック樹（ ○ 標準図による。 ○ ） ○ コンクリート樹（ ○ 標準図による。 ○ 本図面の施工要領図による。 ○ ） ○ 要（ ○ 別途工事 ○ 本工事 ） ○ 不要 ○ 架橋ポリエチレン管（XPE） JIS 又は JV（ ○ 5K ○ 10K（図示部分） ） ○ ステンレス配管に取り付ける弁類は、ステンレス製とする。 湯沸器の給排水間（二重管）の隔べい箇所は保温を行う。なお、保温の種類は標準仕様書第2編 3.1.5表 2.3.5のh・(イ)・Ⅸとする。 (1) 屋内消火栓 一 般 ○ 地 中 ○ (2) 連結送水管 一 般 ○ 地 中 ○ (3) ○ ○ 易操作性1号消火栓 ○ 2号消火栓 ○ 広範囲型2号消火栓 ○ ○ 10k 屋外露出配管は標準仕様書第2編 3.1.5 e2・(ハ)・Ⅷによる保温を行う。 標準図（建物導入部の変位吸収配管要領）（ ○ (a) ○ (b) ○ (c) ）による。 別図による。 別図による。 ○ ドライシステム ○ 図示による。 図示による。 ○ 都市ガス（供給者名： 発熱量 MJ/m3（N）） ○ 液化石油ガス ○ 都市ガス ガス事業者の供給規定による。 ○ 液化石油ガス (1) 一 般 ○ (2) 地 中 ○ 別途（ ○ 50kg ○ ） × 本 ○ 標準図（液化石油ガス容器廻り配管要領）による 本組。 ○ 標準図（液化石油ガス容器転倒防止施工要領）（ ○ (a) ○ (b) ）による。 ○ 視メーター（貸与品）（ ○ 直読式 ○ バルス式（バルス発信器は ○ 買い取り ）） ○ 子メーター（買い取り）（ ○ 直読式 ○ バルス式 ） ○ 本工事（図示による） ○ 別途工事 外部警報端子（ ○ 無 ○ 有 ） ○ 要 ○ 不要 ○ 要 ○ 不要 ○ 要（ ○ 別途工事 ○ 本工事 ） ○ 不要 ○ 模型 ○ 型型（液化石油ガス貯蔵能力 kg） 別図による。 ○ 排水再利用 ○ 浄化槽 ○ 厨房除害 別図による。	●撤去内容 ●保温材 ●支持金物等 ○石綿含有品 ●発生材の処理 去 工 事 ●冷媒（フロン類）の回収 ○上ガス対策 ○その他 ●図示による。 ○ 保温材は、配管・ダクト等より分離する。 ダクト及び配管等の支持金物及び吊り金物は本工事にて撤去する。 撤去方法 ○ 図示による ○ ●金属類（ ○ 機器類 ○ ダクト ● 配管 ○ その他金属類 ）の処理は（ ● 構外搬出適切処理 ○ ）とする。 ○ 特別管理産業廃棄物（ ○ ）の処理は（ ○ 構外搬出適切処理 ○ 別途 ）とする。 ○ 石綿含有産業廃棄物（ ○ 配管用成形保温材 ○ フランジ用ガスケット ）の処理は（ ○ 構外搬出適切処理 ○ 別途 ）とする。 ● 上記以外のもの（ ● 機器類 ○ ）の処理は（ ● 構外搬出適切処理 ○ 別途 ）とする。 ○ 建設リサイクル法における再資源化等を行なう特定建設資材の構外搬出処理を本工事とする。 ● 本工事 ○ 別途 冷凍機等の撤去に伴う冷媒の回収方法は、改修標準仕様書第3編2、4、3により、次の書類を監督職員に提出する。 ● フロン回収工程管理表の写し ○ 特定家庭用機器廃棄物管理票（家電リサイクル券）の写し ○ なし ○ あり（ ○ 自然換気口 ○ ガス抜き管 ○ 強制換気装置 ○ ガス検知器 ○ その他（ ○ ） ） ○ 施工にあたって、防災上必要な措置を講じること。			
		屋 内（調 整 目 標）																																															
		外 気		一般系統		温度 (DB)		湿度 (RH)																																									
		温度 (DB)	湿度 (RH)	温度 (DB)	湿度 (RH)	温度 (DB)	湿度 (RH)	温度 (DB)	湿度 (RH)																																								
		夏 期	31.4℃	72.2%	27℃	50%	℃	%	℃	%																																							
		冬 期	3.2℃	45.7%	20℃	50%	℃	%	℃	%																																							
		○ダクト	○低圧ダクト（ ○ コーナーボルト工法（長辺の長さが 1500 mm以下の部分） アングルフランジ工法 ○ スパイラルダクト ）とする。 ○ 高圧1ダクトの適用範囲は図示による。 ○ ステンレスダクト及び塩化ビニルダクトの仕様及び適用範囲は図示による。 ○ 厨房系統の長方形排気ダクトの板厚は、標準仕様書より1番手厚いものを使用する。 取付箇所は図示による。 空気調和設備の当該項目による。 ○ 浴室（シャワー室、脱衣室を含む）系統 ○ 厨房系統 ○ 高圧2ダクトのシール 長方形ダクト ○ N＋Aシール ○ Bシール 円形ダクト ○ A、Bシール ○ Cシール 空気調和設備の当該項目による。 ○ 全熱交換ユニット用の外気取入れダクト（ ○ 保温範囲及び仕様は図示による。 ○ ） ○ 全熱交換ユニット用の排気用ダクト（ ○ 保温範囲及び仕様は図示による。 ○ ） ○（ ○ 厨房 ○ 湯沸室 ○ ）の隔べいダクト（仕様はh・(イ)・Ⅸ）とし、範囲は図示による。	○排水処理設備																																													
		○ダクト	○亜鉛鉄板 ○ 普通鋼板（厚1.6mm） ○ 図示による。 ○ ファイヤー式 ○ 電気式（遠隔操作 ○ 要 ○ 不要 ） 建築設備定期検査業務基準書（2023年版）（（一財）日本建築設備・昇降機センター）の排煙風量の検査方法に準ずる。	○排水処理設備																																													
		○風量測定口 ○ダンパー ○排気ダクトのシール	○浴室（シャワー室、脱衣室を含む）系統 ○ 厨房系統 ○ 高圧2ダクトのシール 長方形ダクト ○ N＋Aシール ○ Bシール 円形ダクト ○ A、Bシール ○ Cシール 空気調和設備の当該項目による。 ○ 全熱交換ユニット用の外気取入れダクト（ ○ 保温範囲及び仕様は図示による。 ○ ） ○ 全熱交換ユニット用の排気用ダクト（ ○ 保温範囲及び仕様は図示による。 ○ ） ○（ ○ 厨房 ○ 湯沸室 ○ ）の隔べいダクト（仕様はh・(イ)・Ⅸ）とし、範囲は図示による。	○排水処理設備																																													
		○チャンパー ○保温	○浴室（シャワー室、脱衣室を含む）系統 ○ 厨房系統 ○ 高圧2ダクトのシール 長方形ダクト ○ N＋Aシール ○ Bシール 円形ダクト ○ A、Bシール ○ Cシール 空気調和設備の当該項目による。 ○ 全熱交換ユニット用の外気取入れダクト（ ○ 保温範囲及び仕様は図示による。 ○ ） ○ 全熱交換ユニット用の排気用ダクト（ ○ 保温範囲及び仕様は図示による。 ○ ） ○（ ○ 厨房 ○ 湯沸室 ○ ）の隔べいダクト（仕様はh・(イ)・Ⅸ）とし、範囲は図示による。	○排水処理設備																																													
○ダクト	○亜鉛鉄板 ○ 普通鋼板（厚1.6mm） ○ 図示による。 ○ ファイヤー式 ○ 電気式（遠隔操作 ○ 要 ○ 不要 ） 建築設備定期検査業務基準書（2023年版）（（一財）日本建築設備・昇降機センター）の排煙風量の検査方法に準ずる。	○排水処理設備																																															
○排煙口の形式 ○排煙口手動開放装置（開放及び復帰方式） ○排煙風量測定	○亜鉛鉄板 ○ 普通鋼板（厚1.6mm） ○ 図示による。 ○ ファイヤー式 ○ 電気式（遠隔操作 ○ 要 ○ 不要 ） 建築設備定期検査業務基準書（2023年版）（（一財）日本建築設備・昇降機センター）の排煙風量の検査方法に準ずる。	○排水処理設備																																															
○中央監視制御装置 ○システム構成・機能 ○電気計装用配線	○有り（ ○ 新設 ○ 既設 ） ○ 無し 図示による。 使用する電線及びケーブルは、原則としてEM電線又はEMケーブルとする。 屋外・屋内露出の電線は、図面に特記がなければ金属管配線とする。 天井内隠べいの配線は、図面に特記がなければケーブル配線とする。	○排水処理設備																																															
○自動洗浄装置及びその組み込み ○洗面器 ○標記板 ○自動水栓の電源供給方式 ○衛生器具ユニット ○洋風便器 ○浴室ユニット	洗浄水量は2 L/回以下とし、使用状況により洗浄水量が制御できるものとする。 ○ 個別感知フック方式（一体型） 制御盤（ ○ 要 ○ 不要 ） 手洗器は止水栓付とする。 ○ 要 材質（ ○ ）（ ○ 大便器 ○ 小便器 ） ○ 不要 ○ AC電源 ○ 自己発電 ○ ユニットの配管材料は、図示による。 タンク式は6、5 L/回以下とする。 仕様は別図による。	○排水処理設備																																															

工 事 名		本城小学校外2校空調設備設置機械設備工事	
図 面 名		機械設備工事特記仕様書－2	
タティモ合同会社 建物研究所		一級建築士 第394648号 長谷川皓大	検 図 製 図
			M-02

[illegible]

※ 凡例 保温材 GR：グラスウール保温材 RW：ロックウール保温材 PSF：ポリスチレンフォーム保温材
外装材 BR：塗装亜鉛めっき鋼板 SUS：ステンレス鋼板 AL：溶融アルミニウム亜鉛鉄板

※ 不燃材以外の配管が建築基準法施行令第112条第20項に規定する耐火火構造等の防火区画を貫通する場合直通部より1m以上はロックウール保温材を使用すること

※ 配管の保温は、継手及び弁類を含む。図面及び本特記仕様書に記載されていない事項は、標準仕様による。

[illegible]

インポート例 施工要領図

S-1 ・ S-2

ため例 施工要領図

R-1

深さ	H=600以下	H=600超
寸法	S-1	S-2
W	450×450	600×600
T	45	50
t	100	120
A	700	850

1. 蓋は錆蝕防止装置とする。
(鎖付き、汚水マーク入り)
2. 既製樹側境、緑境は、すべて鉄筋入りとする。
3. 既製樹側境、緑境は、ズレを防止する構造とする。

深さ	H=600以下	H=600超
寸法	R-1	R-2
W	450×450	600×600
A	520×520	670×670
B	650×450	800×800
T	45	50
t	100	120

別表-1

機 材 等	

冷媒配管支持要領

土間下配管詳細図

土間下地中配管は、9φ鉄筋（タールエポキシ塗リ）にて、U字型支持のこと。
支持間隔は、仕様による。

吊りバンド、棒鋼はステンレス製とする。
棒鋼を土間鉄筋に結束する場合は、直接、接しないよう電蝕防止策を施すこと。
支持間隔は、仕様による。

吊りバンド、棒鋼はステンレス製とする。
棒鋼を土間鉄筋に仮止める場合は、直接、接しないよう電蝕防止策を施すこと。
支持間隔は、仕様による。

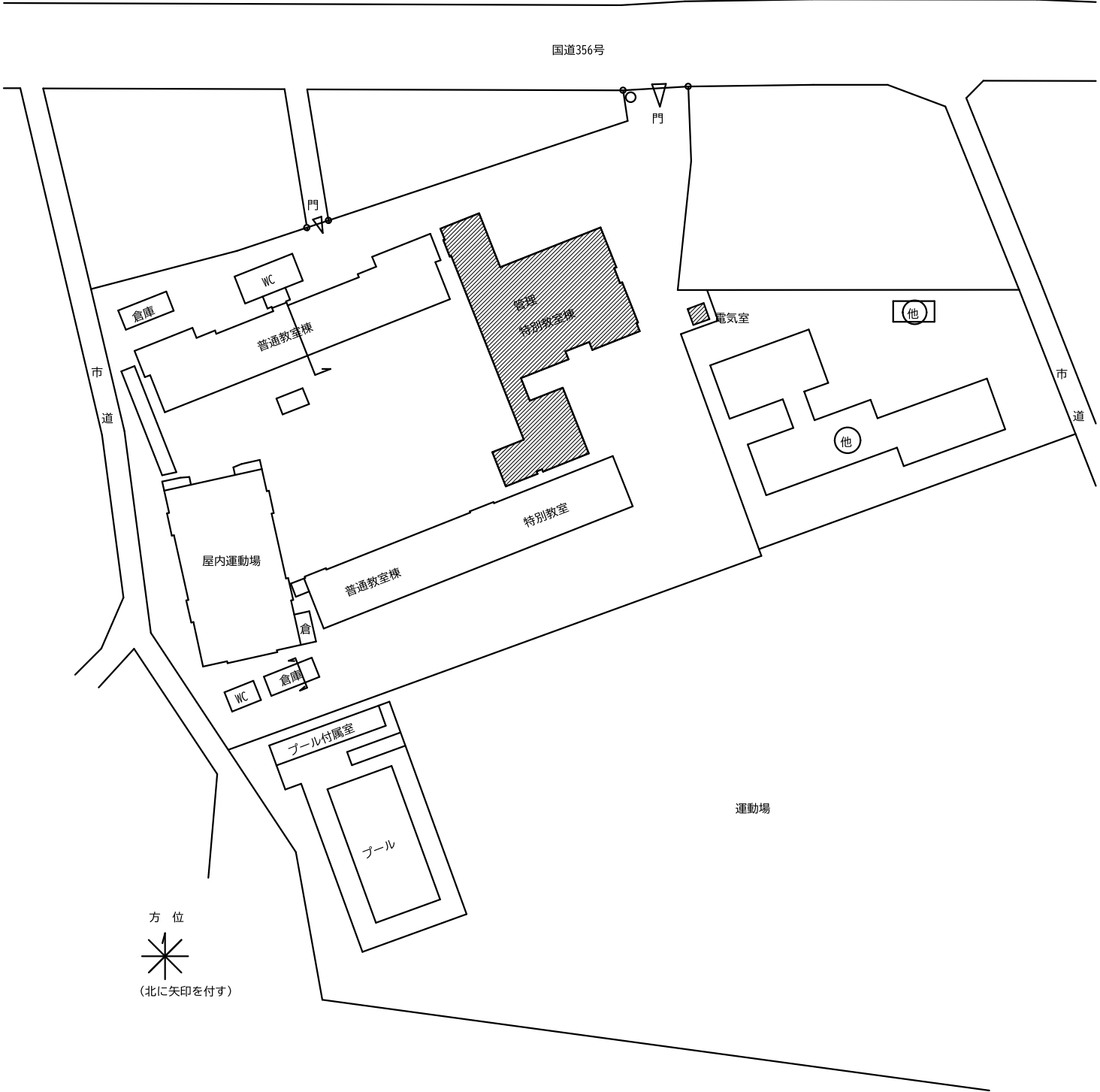
Technical drawing of a staircase showing a side elevation and a cross-section. The side elevation shows a staircase with a handrail, labeled with dimensions: 150 (height), 100 (width), and 60 (depth). The cross-section shows a staircase with a handrail, labeled with dimensions: 150 (height), 100 (width), and 60 (depth). The drawing is labeled '樓梯標準構成' (Standard Staircase Structure).

インクリート蓋は、既製型用とし、鉄筋とする。
製例例塊、縁塊は、すべて鉄筋入りする。
鉄蓋を使用する場合は汚水側に準る。

工 事 名	本城小学校外2校空調設備設置機械設備工事			
図 面 名	機械設備工事特記仕様書－３			図面番号
タティモ合同会社 建物研究所	一級建築士 第394648号 長谷川皓大	検 図	製 図	M-03



委託業務箇所：鉾子市本城町4丁目226番地
案内図

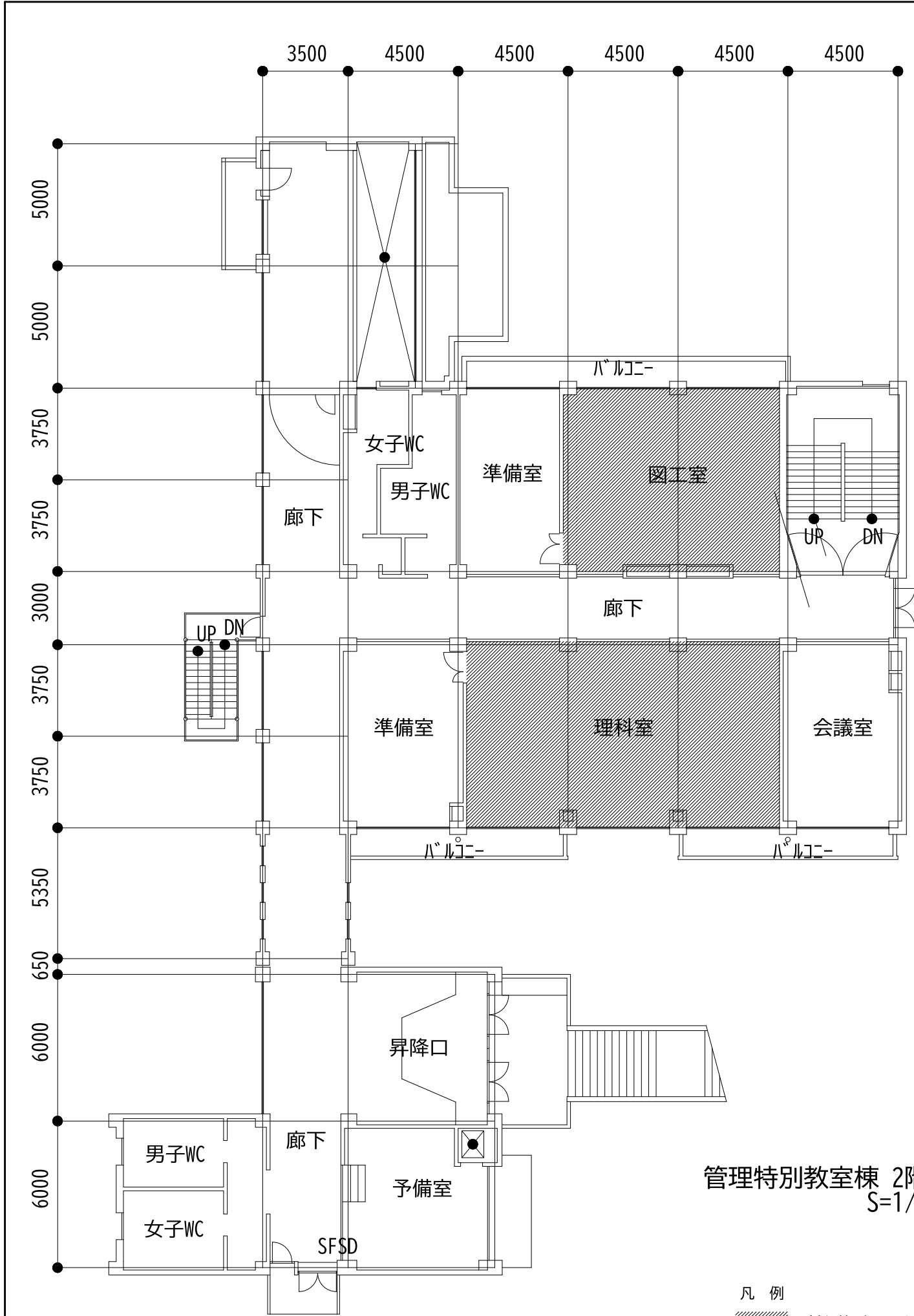


配置図 S=1/1,000

(本城小学校)

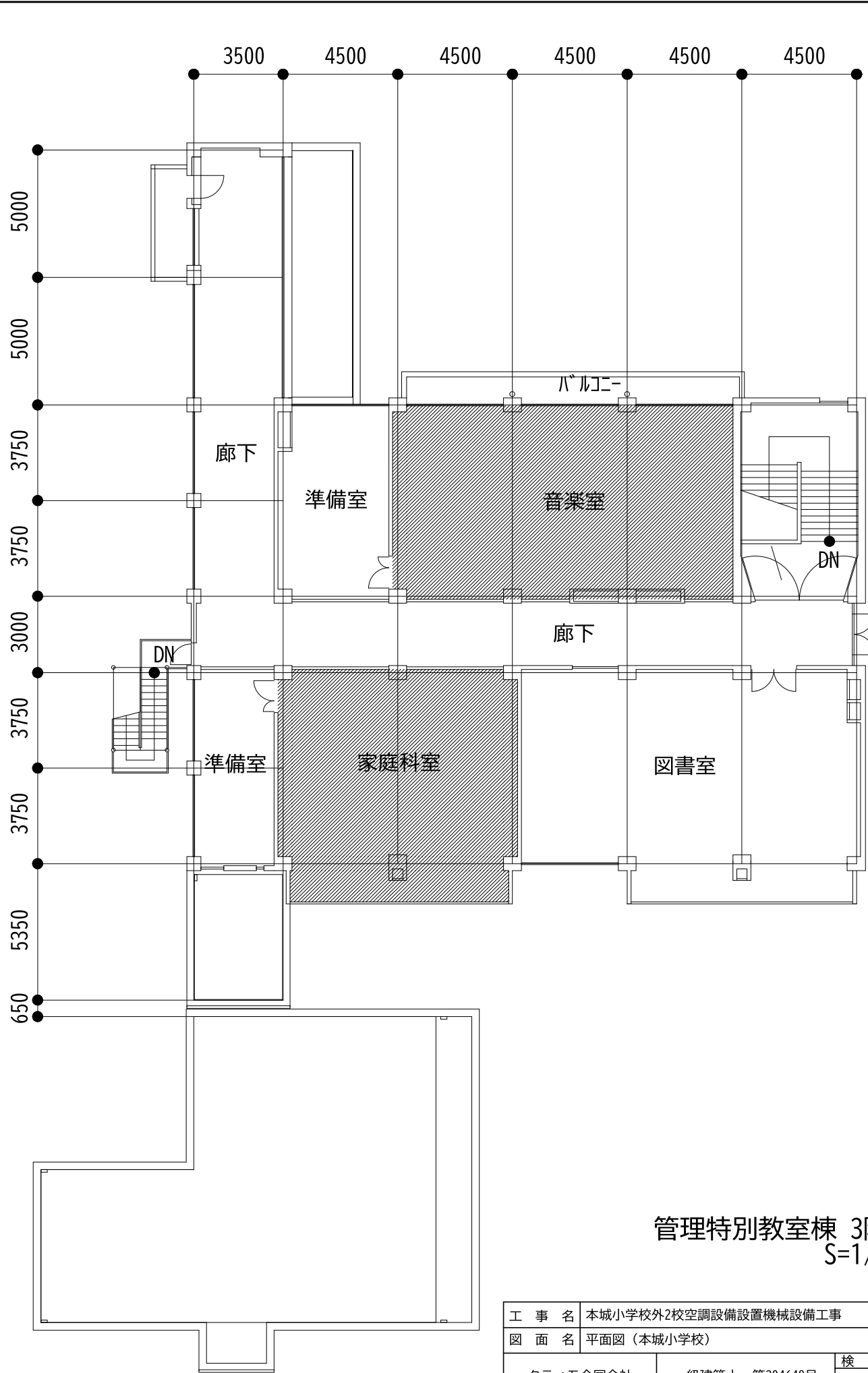
凡 例
対象建物を示す

工 事 名		本城小学校外2校空調設備設置機械設備工事			
図 面 名		案内図・配置図（本城小学校）			図面番号
タティモ合同会社 建物研究所	一級建築士 第394648号 長谷川皓大	検 図 製 図		M-11	



管理特別教室棟 2階平面図
S=1/200(A3)

凡 例
対象箇所を示す



管理特別教室棟 3階平面図
S=1/200(A3)

工 事 名		本城小学校外2校空調設備設置機械設備工事		
図 面 名		平面図 (本城小学校)		
タティモ合同会社 建物研究所		一級建築士 第394648号 長谷川皓大	検 図 製 図	図面番号 M-12

空調設備機器表

[illegible]

凡 例

[illegible]

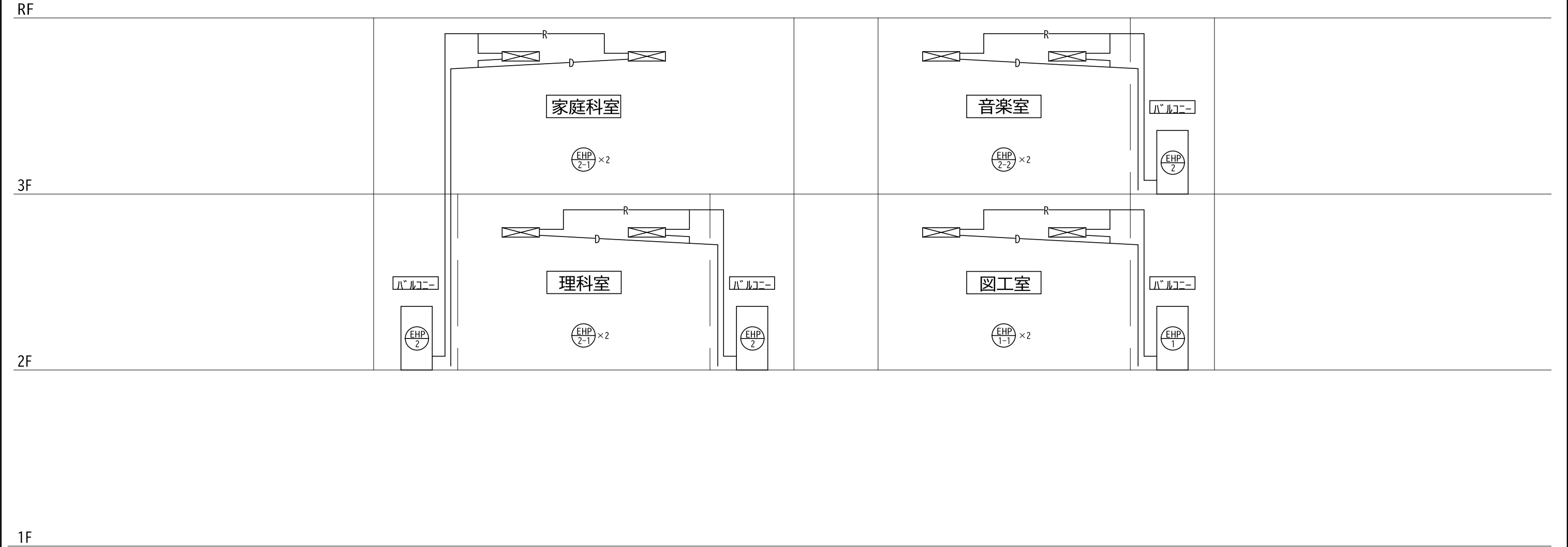
施 工 標 準 図

屋外露出 <table><tr><td>合成樹脂が[＊]－</td></tr><tr><td>ビニル粘着テープ※1 (1mにつき1箇所以上2回巻締め)</td></tr><tr><td>断熱材被覆銅管</td></tr></table> 注) 制御線、アース線及び動力線は必要に応じ入れるものとする。 ※1 電気絶縁用ポリ塩化ビニルテープ (t=0.2mm)	合成樹脂が [＊] －	ビニル粘着テープ※1 (1mにつき1箇所以上2回巻締め)	断熱材被覆銅管	屋内露出 <table><tr><td>合成樹脂が[＊]－</td></tr><tr><td>ビニル粘着テープ※1 (1mにつき1箇所以上2回巻締め)</td></tr><tr><td>断熱材被覆銅管</td></tr></table> 注) 制御線、アース線及び動力線は必要に応じ入れるものとする。 ※1 電気絶縁用ポリ塩化ビニルテープ (t=0.2mm)	合成樹脂が [＊] －	ビニル粘着テープ※1 (1mにつき1箇所以上2回巻締め)	断熱材被覆銅管	冷媒配管支持標準図
合成樹脂が [＊] －								
ビニル粘着テープ※1 (1mにつき1箇所以上2回巻締め)								
断熱材被覆銅管								
合成樹脂が [＊] －								
ビニル粘着テープ※1 (1mにつき1箇所以上2回巻締め)								
断熱材被覆銅管								
屋外冷媒配管保温標準図 (参考図)	屋内冷媒配管保温標準図 (参考図)	冷媒配管支持標準図						

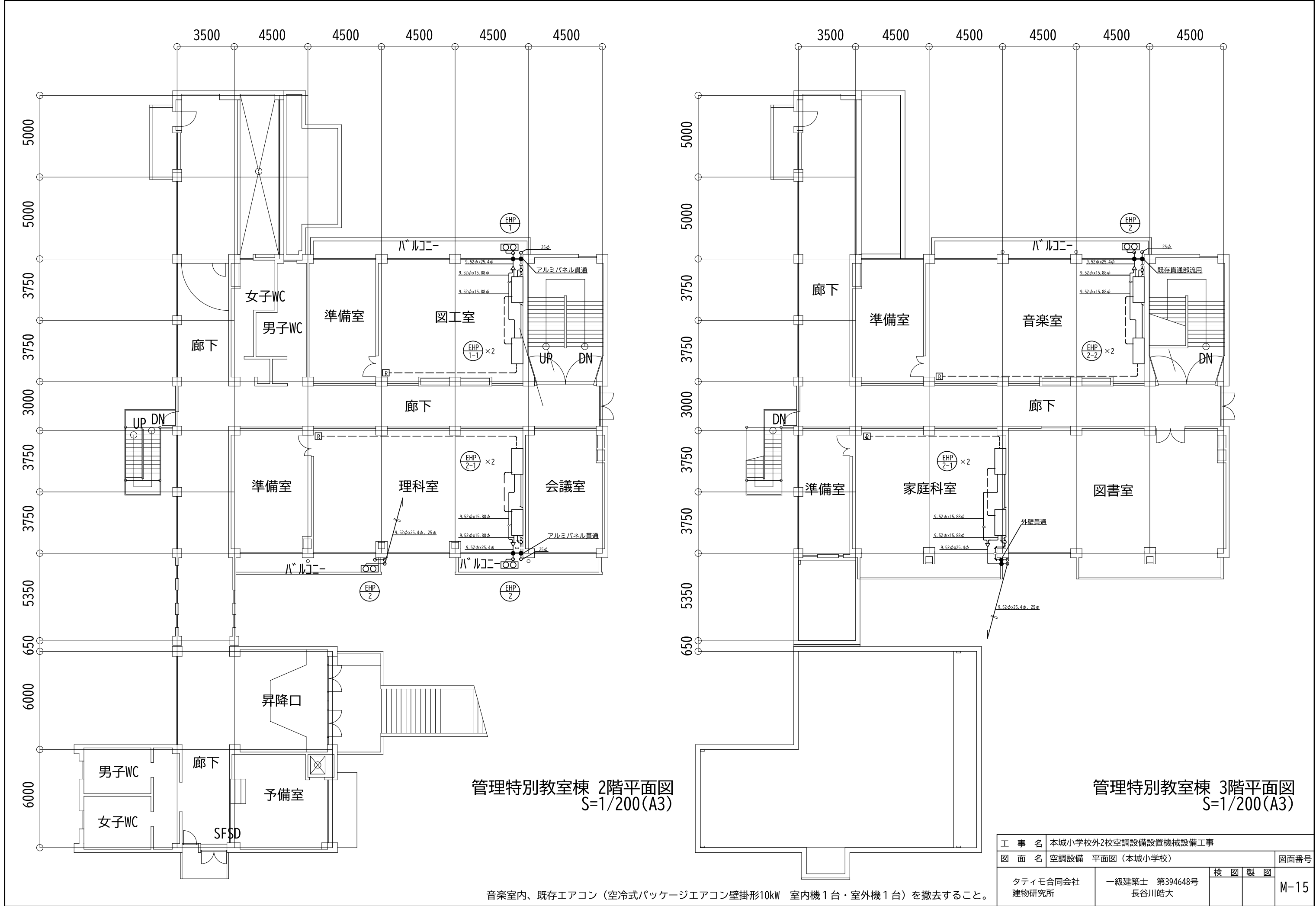
注記

1. パッケージエアコンの渡り配線、コントローラー配線は本工事とする。
2. パッケージ室内機は全て防振すり金物共とする。
3. 室内機と室外機の渡り配線は冷媒管共巻きとする。
4. 空調機の能力は、JIS条件時能力を示し、冷媒はR32とする。
5. 機器の消費電力・冷媒管サイズ・風量等は参考値とし、メーカー標準仕様とする。
6. 予備フィルターは本工事とし、基礎ボルトはSUS製とする。
7. 真通部はバテ処理とし、屋内・屋外の冷媒管類のカバーは施工標準図による。
8. 音楽室内、既存エアコン（空冷式パッケージエアコン壁掛形10kW 室内機1台・室外機1台）を撤去すること。

工 事 名				本城小学校外2校空調設備設置機械設備工事	
図 面 名				空調設備 機器表（本城小学校）	
タティモ合同会社 建物研究所		一級建築士 第394648号 長谷川皓大		検 図	製 図
				M-13	



工 事 名	本城小學校外2校空調設備設置機械設備工事			
図 面 名	空調設備 系統図 (本城小學校)			図面番号
タティモ合同会社 建物研究所	一級建築士 第394648号 長谷川皓大	検 図 製 図		M-14

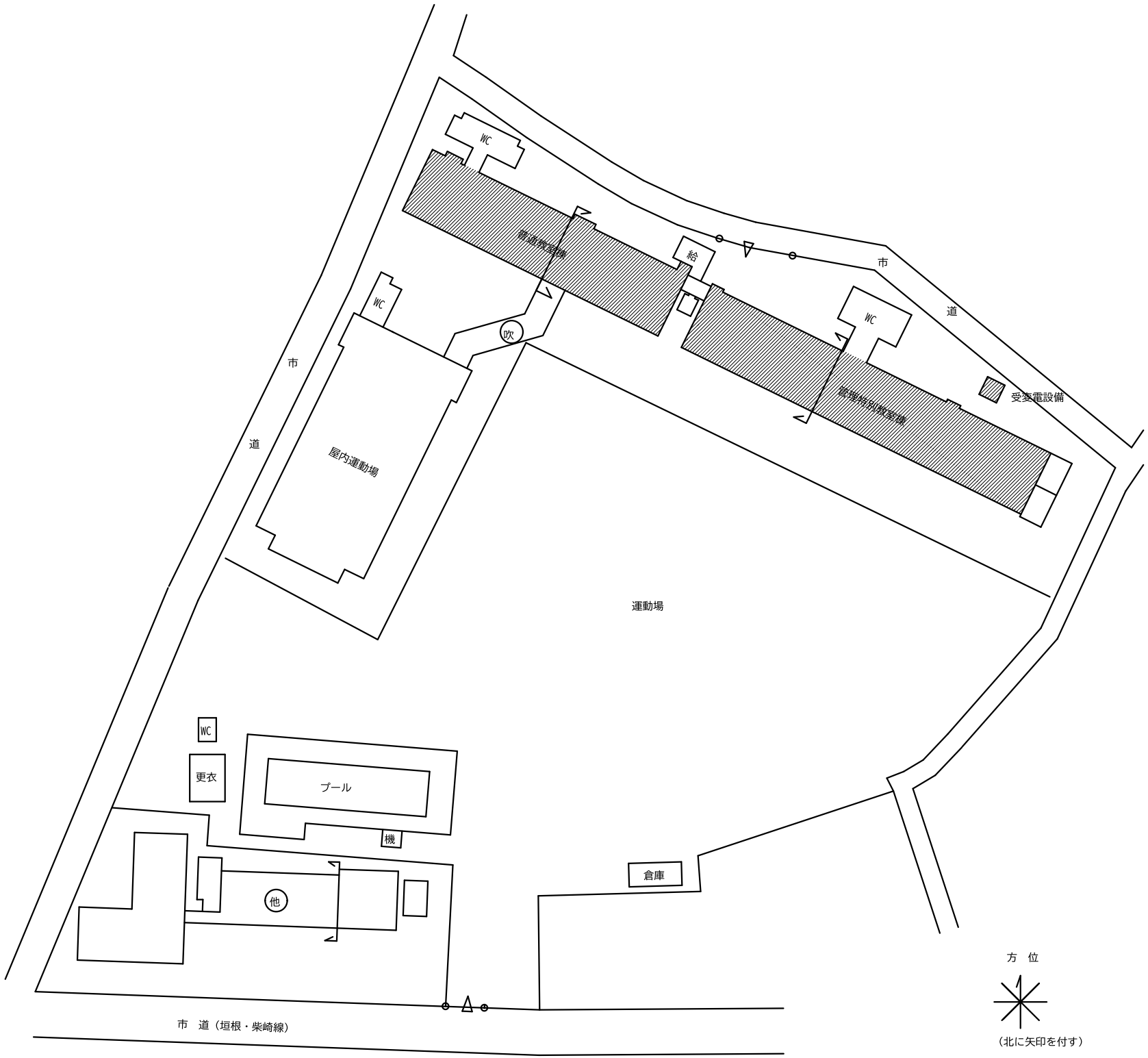




委託業務箇所：銚子市垣根町1丁目370番地
案内図

窓 図		
	室 名	理科室
	形 式	既存アルミサッシ
	仕 上	既存のまま
	備 考	窓ガラス（斜線部分）撤去の上、アルミバネル新設

建具表 S=1/200

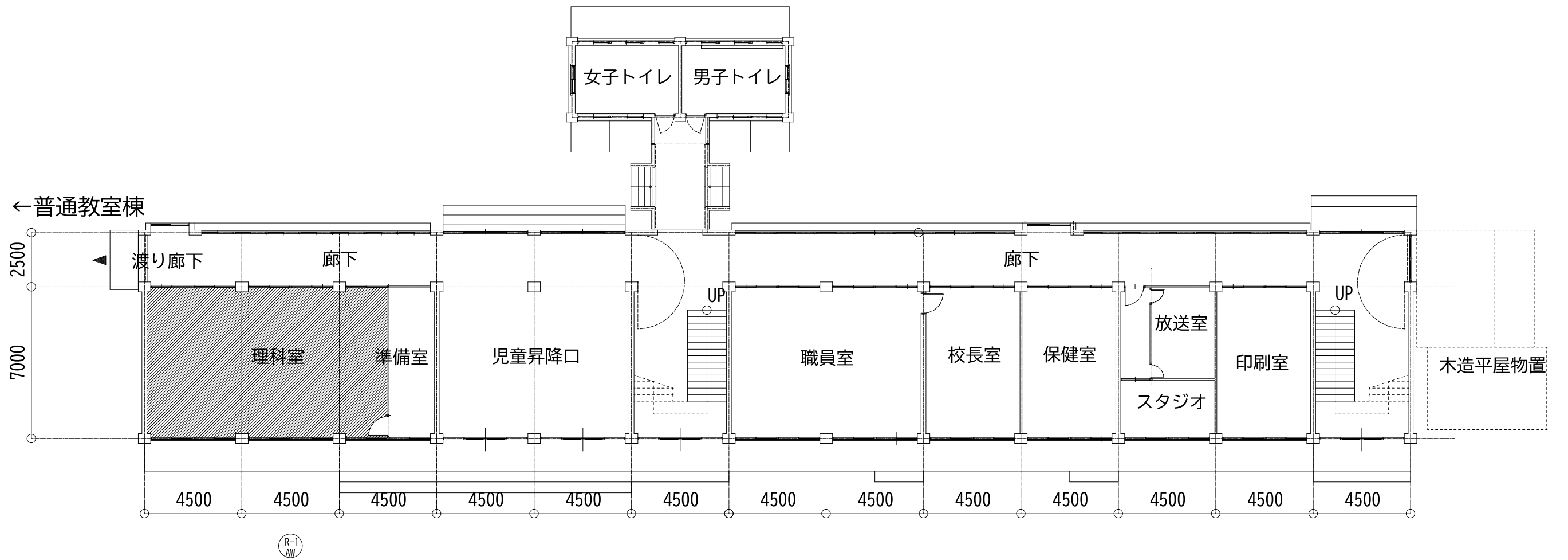


配置図 S=1/800

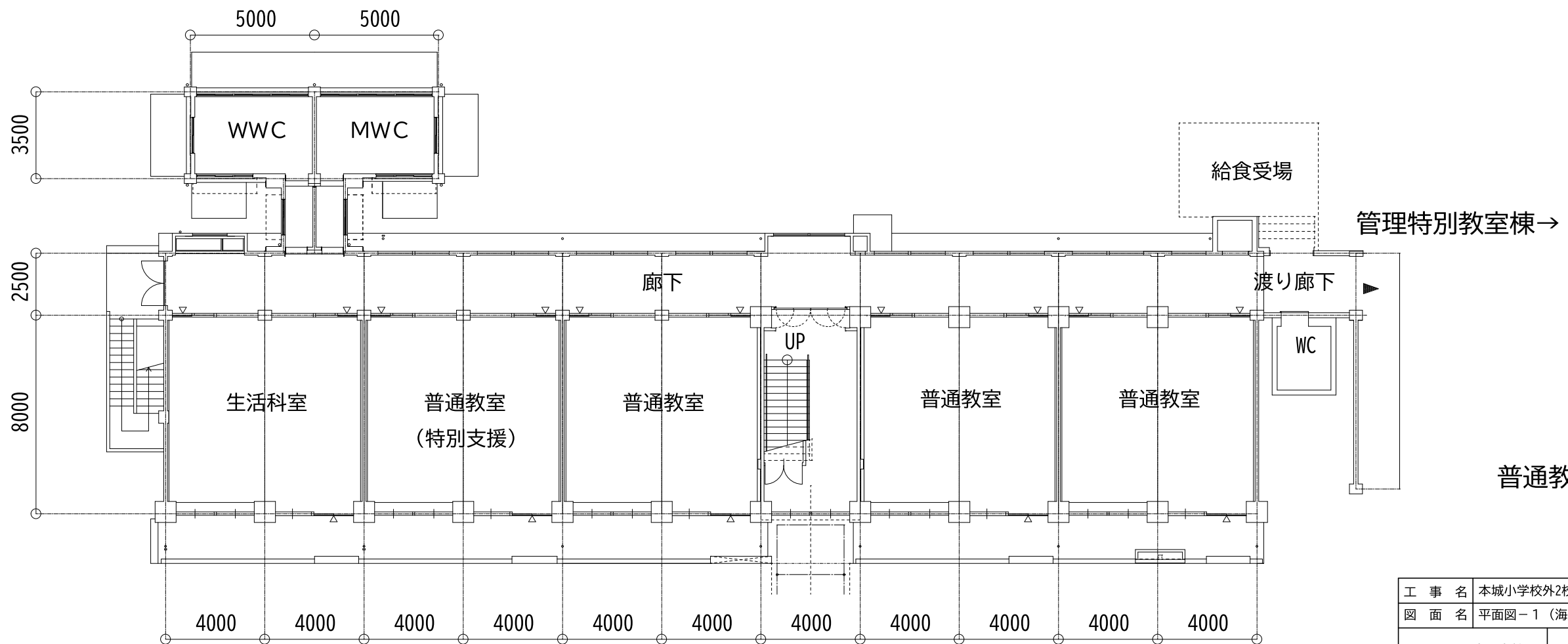
（海上小学校）

凡 例
対象箇所を示す

工 事 名		本城小学校外2校空調設備設置機械設備工事		
図 面 名		案内図・配置図・建具表（海上小学校）		図面番号
タティモ合同会社 建物研究所	一級建築士 第394648号 長谷川皓大	検 図 製 図		M-21



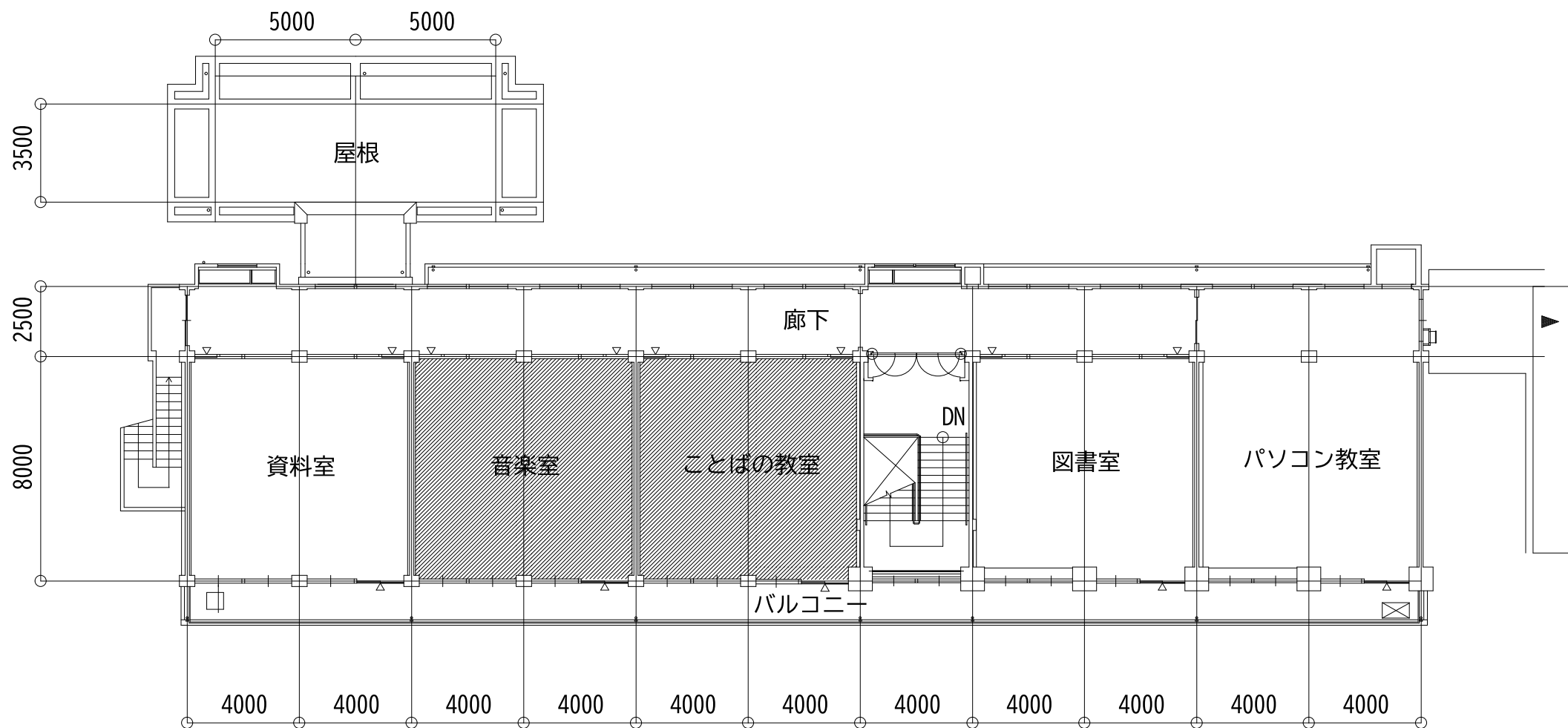
管理特別教室棟 1階平面図
S=1/200(A3)



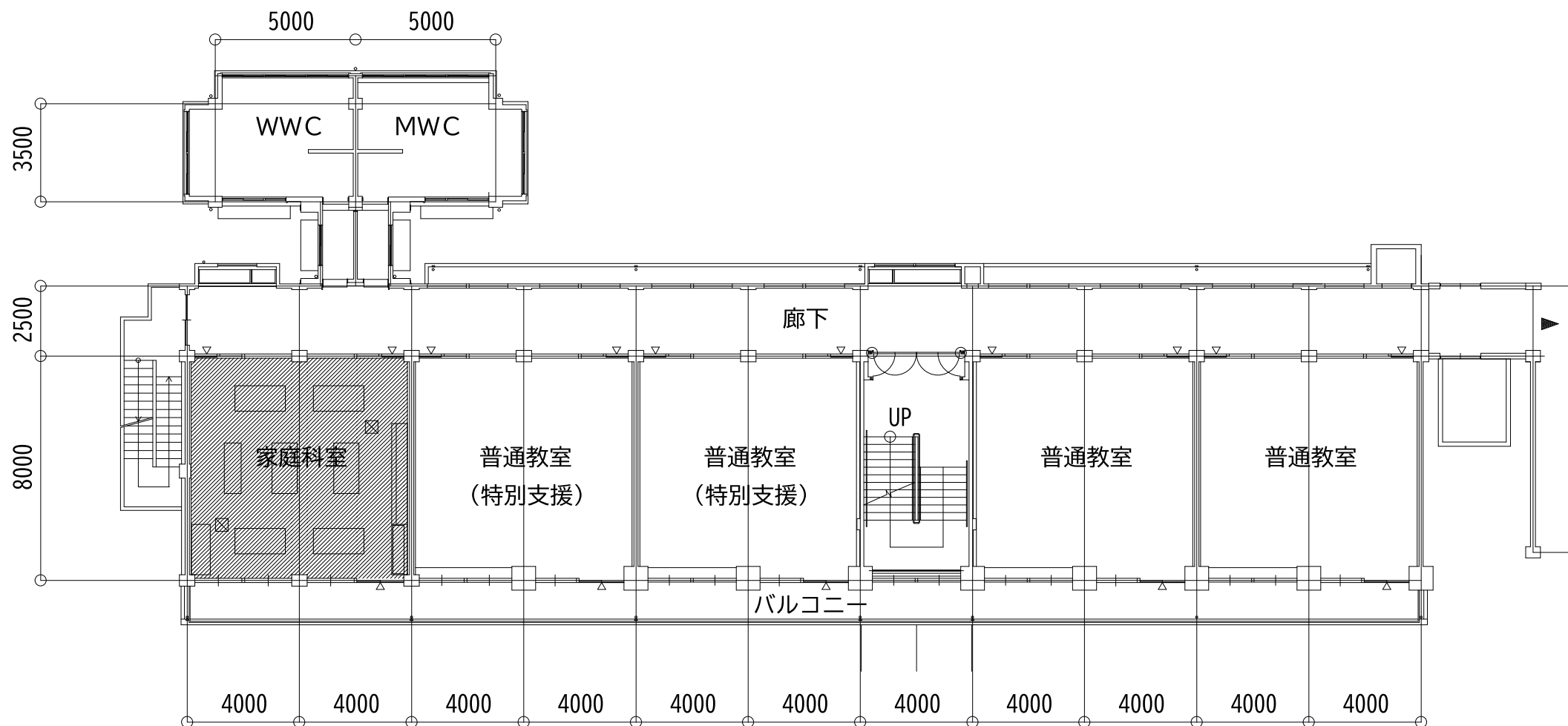
普通教室棟 1階平面図
S=1/200(A3)

凡 例
対象箇所を示す

工 事 名 本城小学校外2校空調設備設置機械設備工事			
図 面 名 平面図-1 (海上小学校)			図面番号
タティモ合同会社 建物研究所	一級建築士 第394648号 長谷川皓大	検 図 製 図	
		M-22	



普通教室棟 3階平面図
S=1/200(A3)



普通教室棟 2階平面図
S=1/200(A3)

凡 例
対象箇所を示す

工 事 名		本城小校外2校空調設備設置機械設備工事		
図 面 名		平面図-2 (海上小学校)		
タティモ合同会社 建物研究所		一級建築士 第394648号 長谷川皓大	検 図 製 図	図面番号 M-23

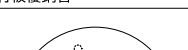
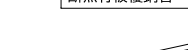
空調設備機器表

[illegible]

凡 例

[illegible]

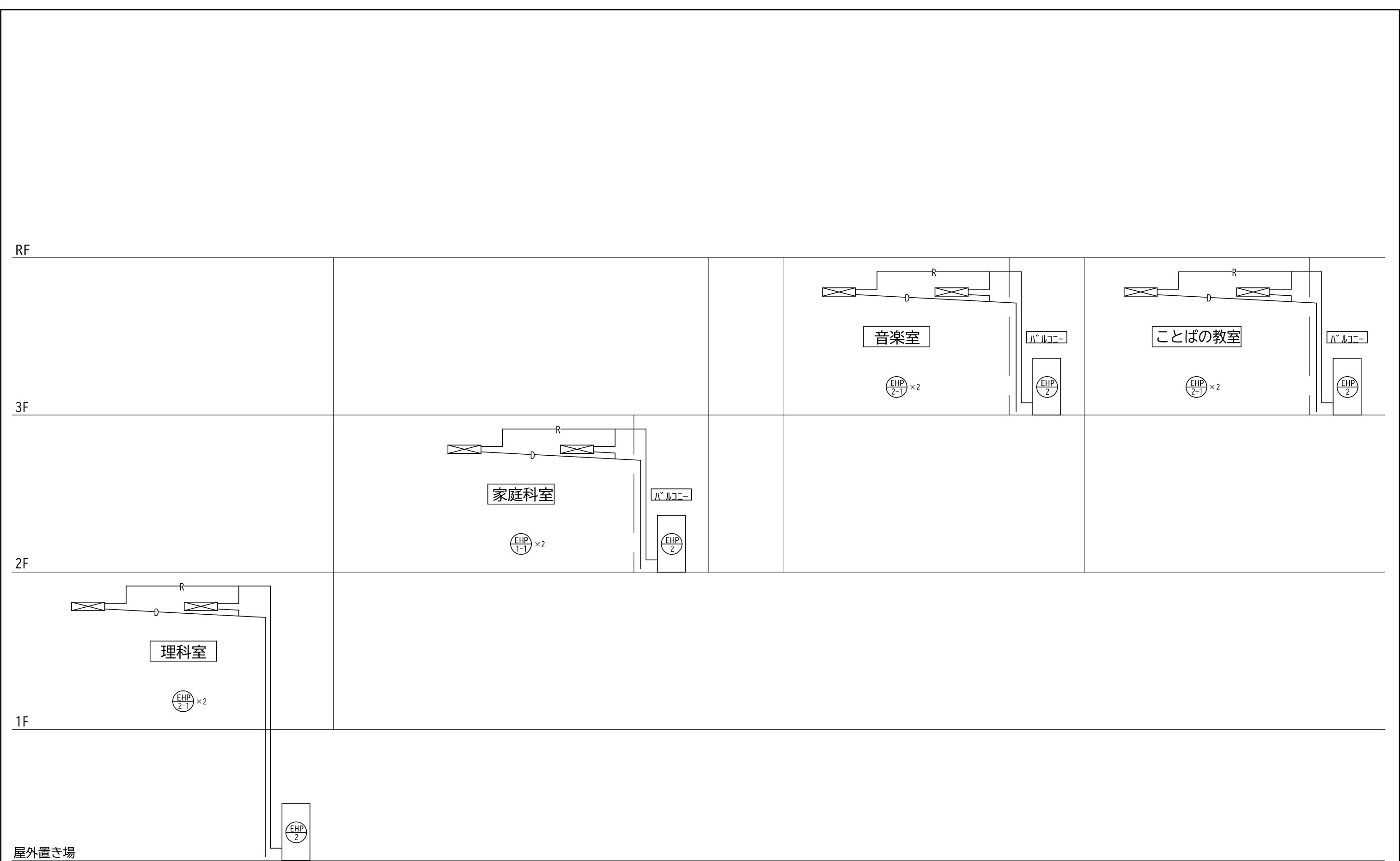
施 工 標 準 図

屋外露出 <table> <tr><td>合成樹脂が*</td></tr> <tr><td>ビニル粘着テープ ※1</td></tr> <tr><td>(1mにつき1箇所以上2回巻締め)</td></tr> <tr><td>断熱材被覆銅管</td></tr> </table>  注) 制御線、アース線及び動力線は必要に応じ入れるものとする。 ※1 電気絶縁用ポリ塩化ビニルテープ (t=0.2mm)	合成樹脂が*	ビニル粘着テープ ※1	(1mにつき1箇所以上2回巻締め)	断熱材被覆銅管	屋内露出 <table> <tr><td>合成樹脂が*</td></tr> <tr><td>ビニル粘着テープ ※1</td></tr> <tr><td>(1mにつき1箇所以上2回巻締め)</td></tr> <tr><td>断熱材被覆銅管</td></tr> </table>  注) 制御線、アース線及び動力線は必要に応じ入れるものとする。 ※1 電気絶縁用ポリ塩化ビニルテープ (t=0.2mm)	合成樹脂が*	ビニル粘着テープ ※1	(1mにつき1箇所以上2回巻締め)	断熱材被覆銅管	冷媒配管支持標準図 
合成樹脂が*										
ビニル粘着テープ ※1										
(1mにつき1箇所以上2回巻締め)										
断熱材被覆銅管										
合成樹脂が*										
ビニル粘着テープ ※1										
(1mにつき1箇所以上2回巻締め)										
断熱材被覆銅管										
屋外冷媒配管保温標準図 (参考図)	屋内冷媒配管保温標準図 (参考図)	冷媒配管支持標準図								

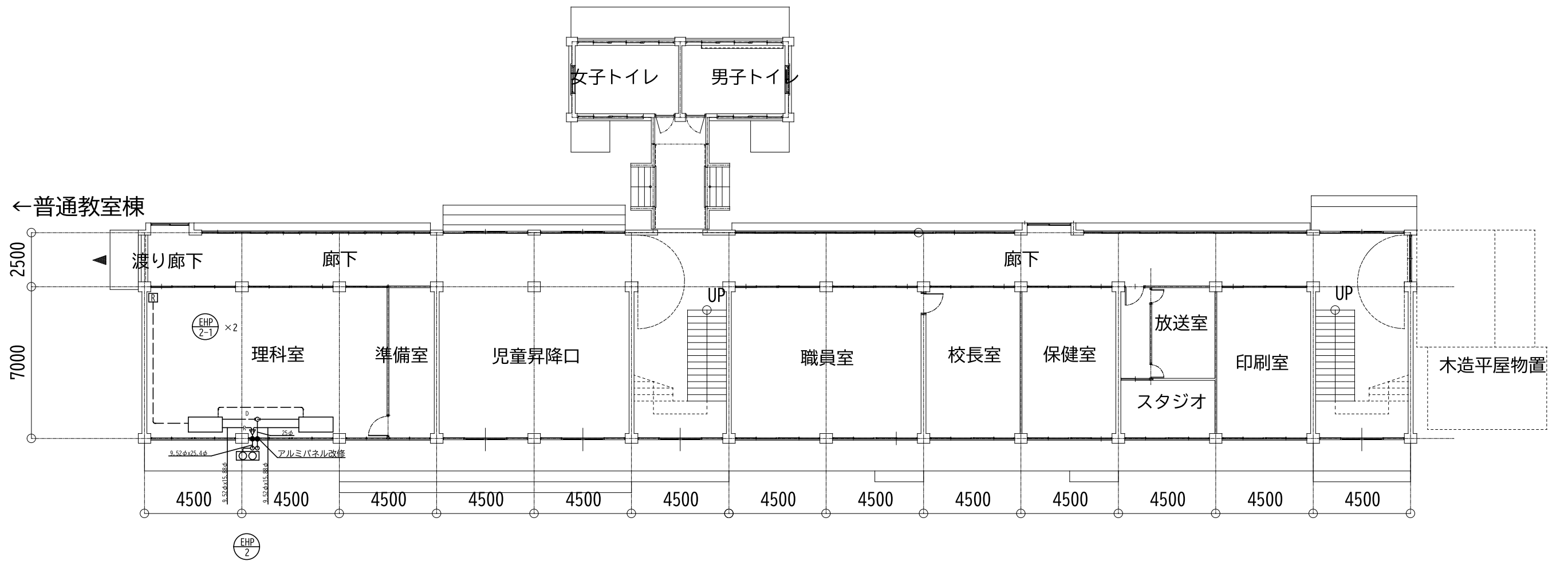
注記

1. パッケージエアコンの渡り配線、コンローラー配線は本工事とする。
2. パッケージ室内機は全て防振吊り、公共共とする。
3. 室内機と室外機の渡り配線は冷媒管共巻きとする。
4. 空調機の外力は、JIS条件時能力を示し、冷媒はR32とする。
5. 機器の消費電力・冷媒管サイズ・風量等は参考値とし、メーカー標準仕様とする。
6. 予備部品は本工事とし、基礎ボルトはSUS製とする。
7. 貴部ではパテ処理とし、屋内・屋外の冷媒管類のカバーは施工標準図による。

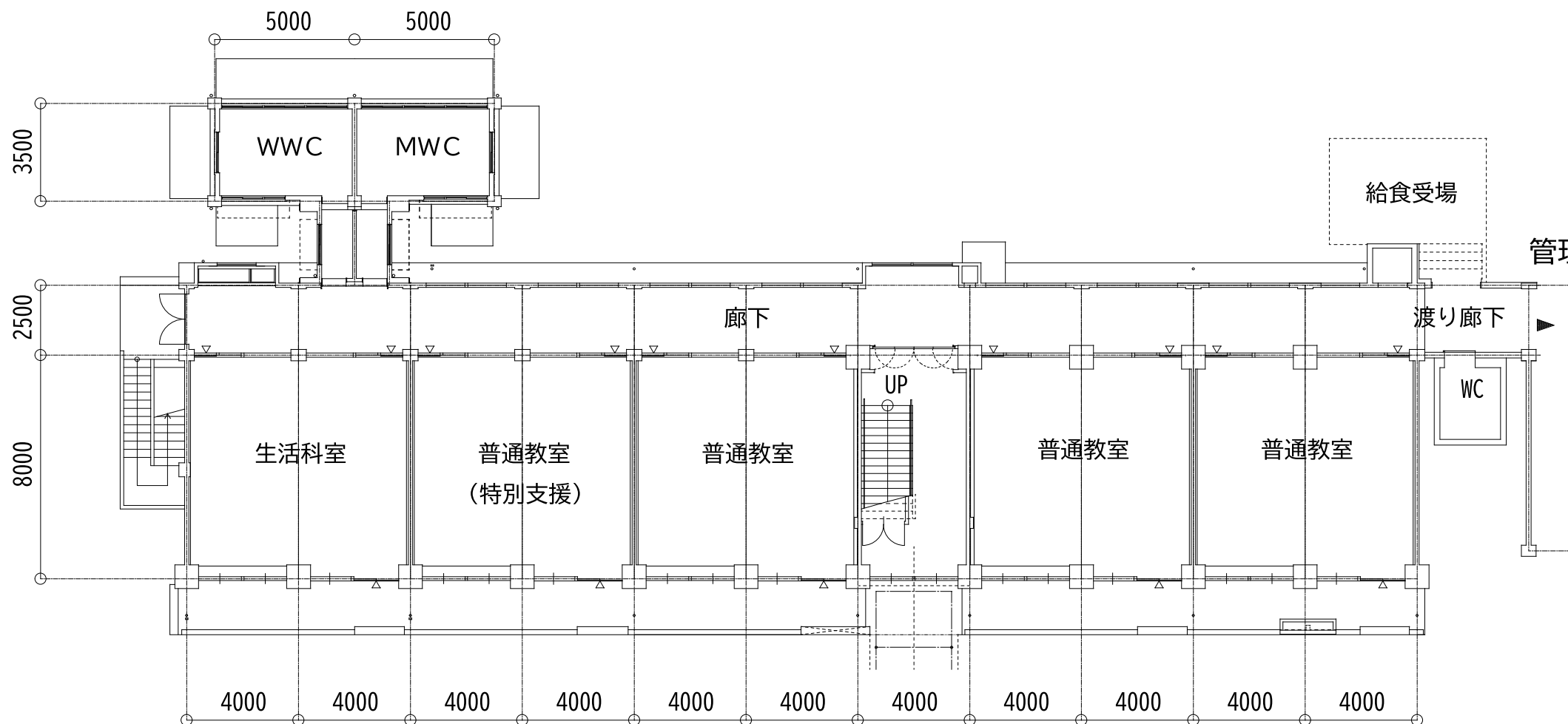
工 事 名		本城小学校外2校空調設備設置機械設備工事		
図 面 名		空調設備 機器表 (海上小学校)		図面番号
タティモ合同会社 建物研究所	一級建築士 第394648号 長谷川皓大	検 図	製 図	M-24



工 事 名	本城小学校外2校空調設備設置機械設備工事			
図 面 名	空調設備 系統図 (海上小学校)			図面番号
タティモ合同会社 建物研究所	一級建築士 第394648号 長谷川皓大	検 図 製 図		M-25

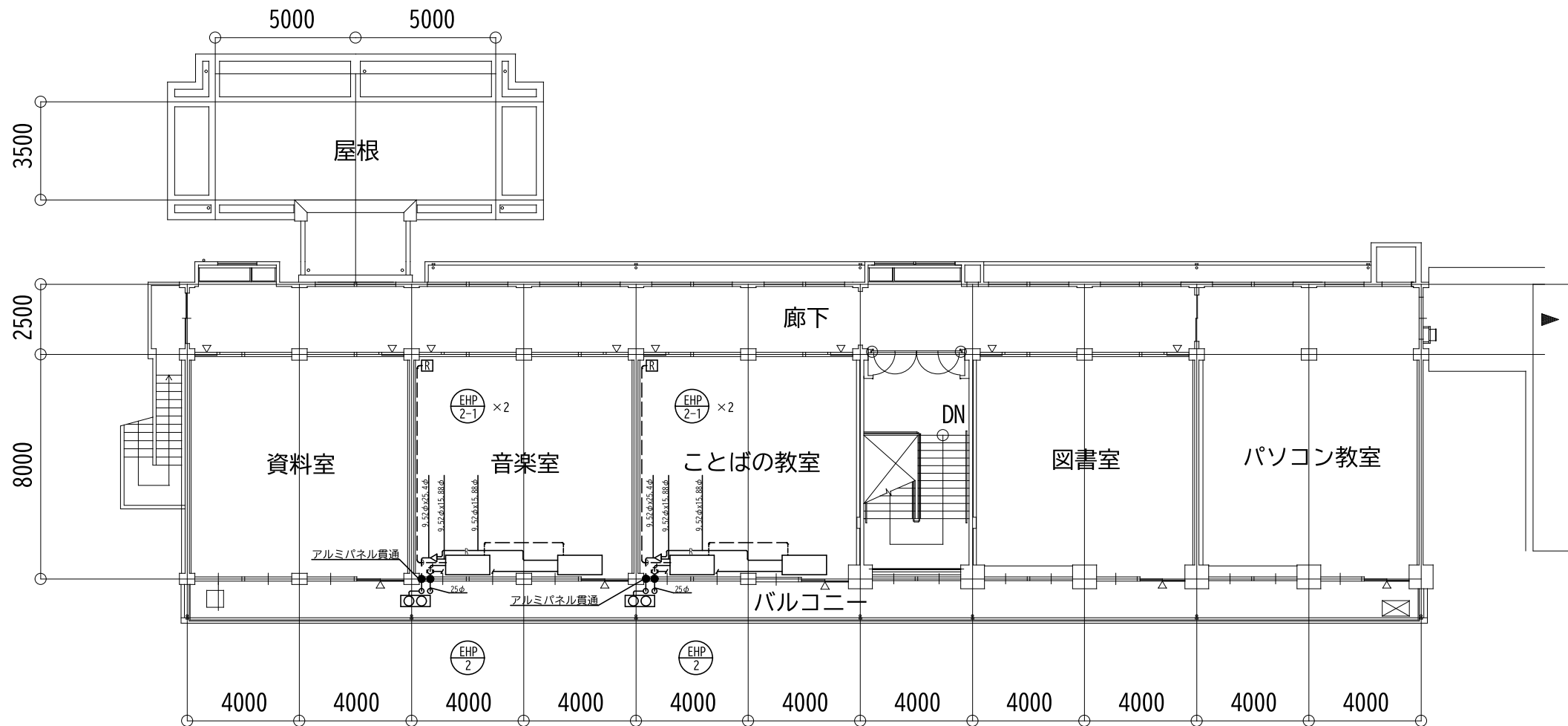


管理特別教室棟 1階平面図
S=1/200(A3)

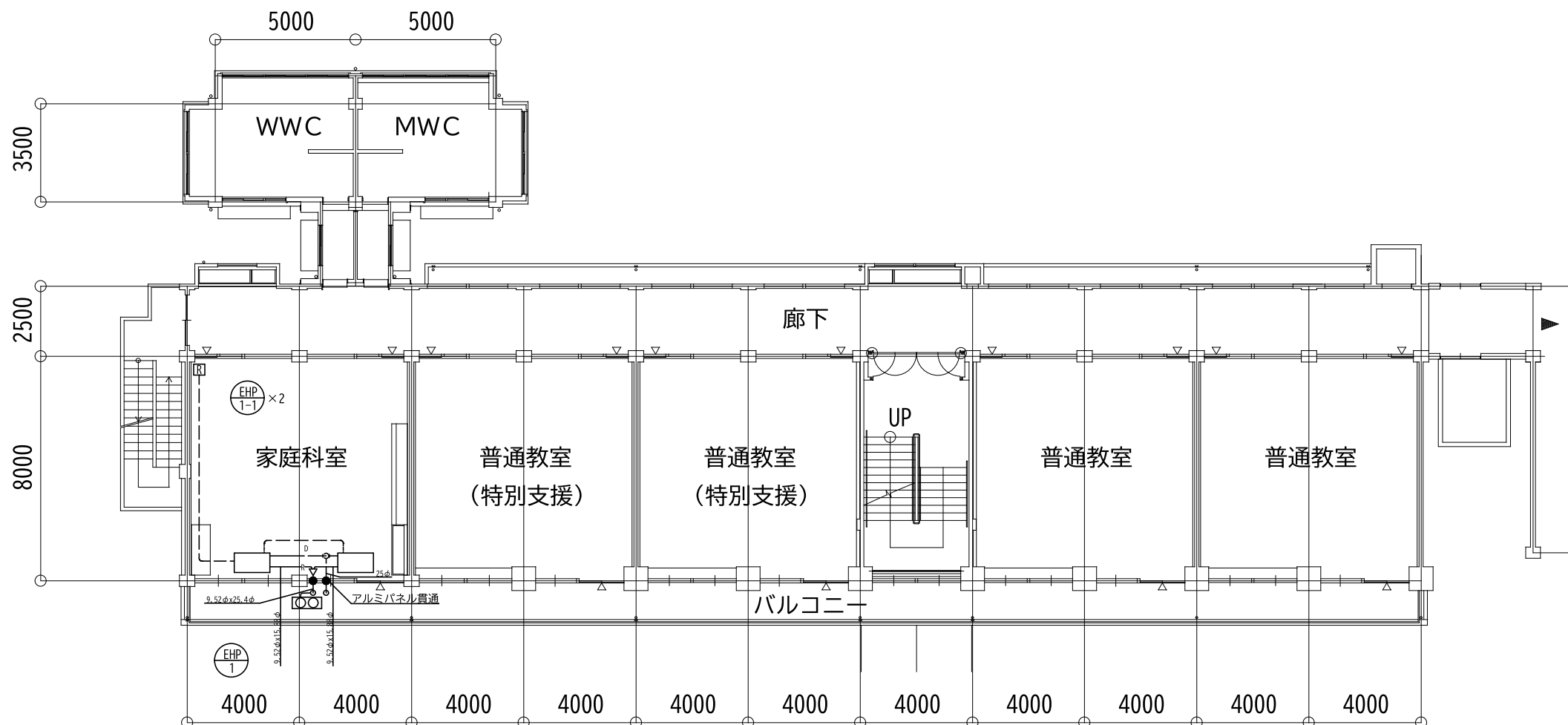


普通教室棟 1階平面図
S=1/200(A3)

工 事 名 本城小校外2校空調設備設置機械設備工事			
図 面 名 空調設備 平面図-1 (海上小学校)			図面番号
タティモ合同会社 建物研究所	一級建築士 第394648号 長谷川皓大	検 図 製 図	
		M-26	



普通教室棟 3階平面図
S=1/200(A3)

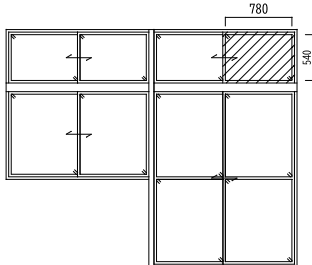
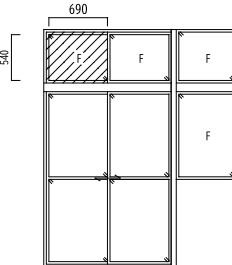
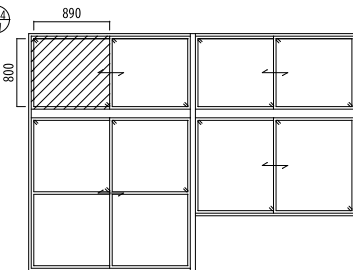
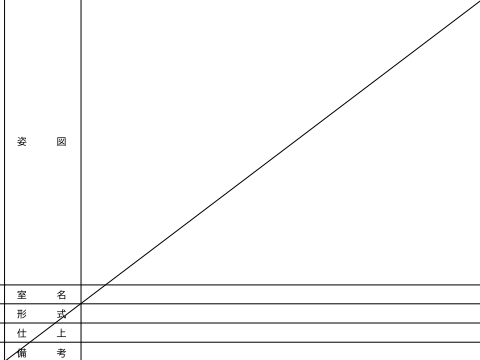


普通教室棟 2階平面図
S=1/200(A3)

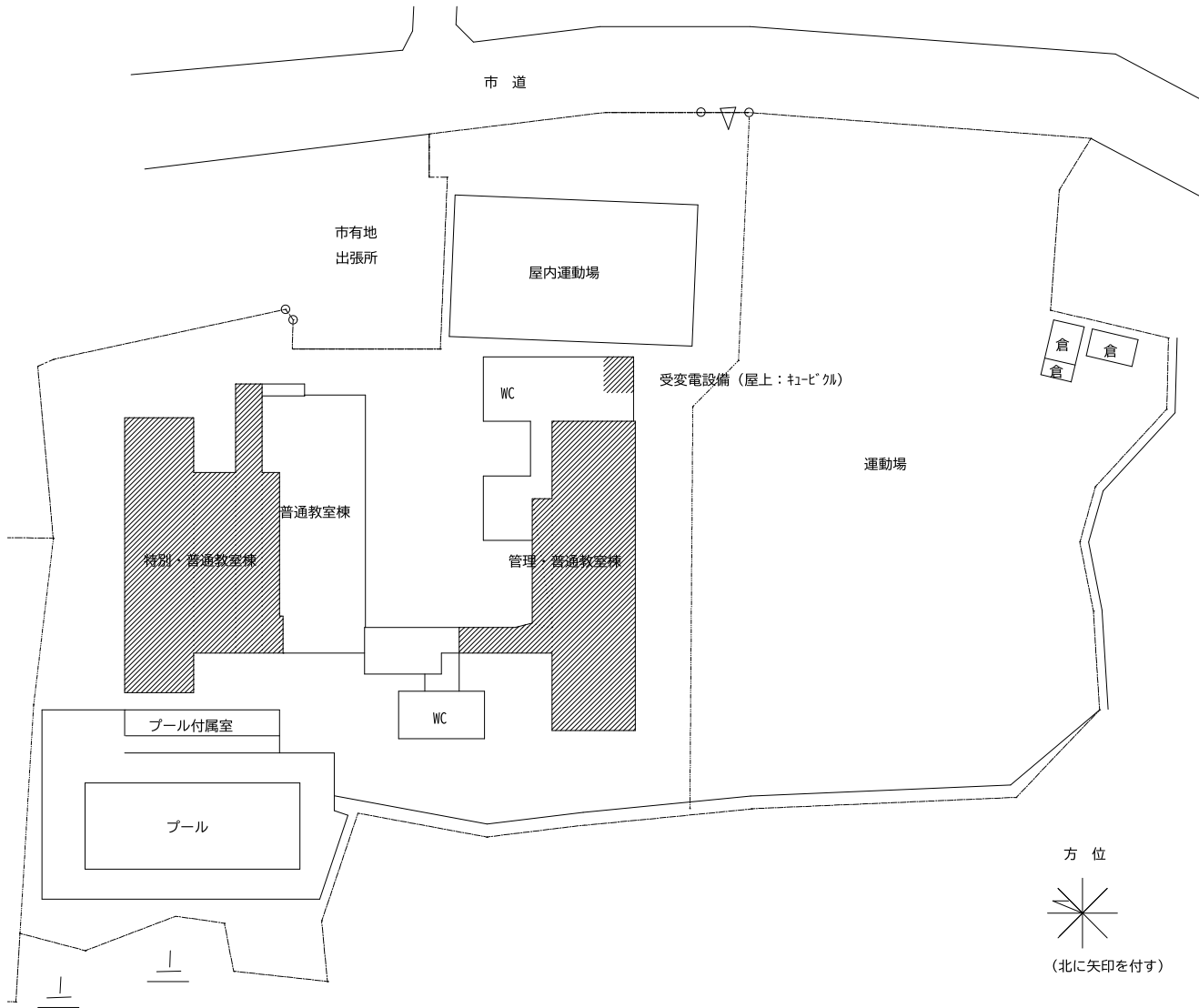
工 事 名		本城小校外2校空調設備設置機械設備工事		
図 面 名		空調設備 平面図-2 (海上小学校)		
		図面番号		
タティモ合同会社 建物研究所		一級建築士 第394648号 長谷川皓大	検 図 製 図	M-27



委託業務箇所：銚子市笹本町360番地
案内図

委 図		委 図						
	室 名	理科室	1箇所	室 名	音楽室	1箇所		
	形 式	既存アルミサッシ	アルミ断縁	形 式	既存アルミサッシ	アルミ断縁		
	仕 上	既存のまま		仕 上	既存のまま			
	備 考	窓ガラス（斜線部分）撤去の上、アルミパネル新設		備 考	窓ガラス（斜線部分）撤去の上、アルミパネル新設			
委 図		委 図						
	室 名	図工室				1箇所	室 名	
	形 式	既存アルミサッシ				アルミ断縁	形 式	
	仕 上	既存のまま					仕 上	
	備 考	窓ガラス（斜線部分）撤去の上、アルミパネル新設				備 考		

建具表 S=1/200

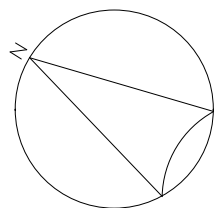


配置図 S=1/800

凡 例

 対象箇所を示す

工 事 名	本城小学校外2校空調設備設置機械設備工事			
図 面 名	案内図・配置図・建具表（豊里小学校）			図面番号
タティモ合同会社 建物研究所	一級建築士 第394648号 長谷川皓大	検 図 製 図		M-31



凡 例

	対象箇所を示す
---	---------

工 事 名	本城小学校外2校空調設備設置機械設備工事		
図 面 名	平面図-1（豊里小学校）		図面番号
タティモ合同会社 建物研究所	一級建築士 第394648号 長谷川皓大	検 図 製 図	M-32

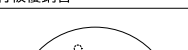
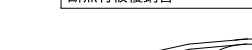
空調設備機器表

[illegible]

凡 例

[illegible]

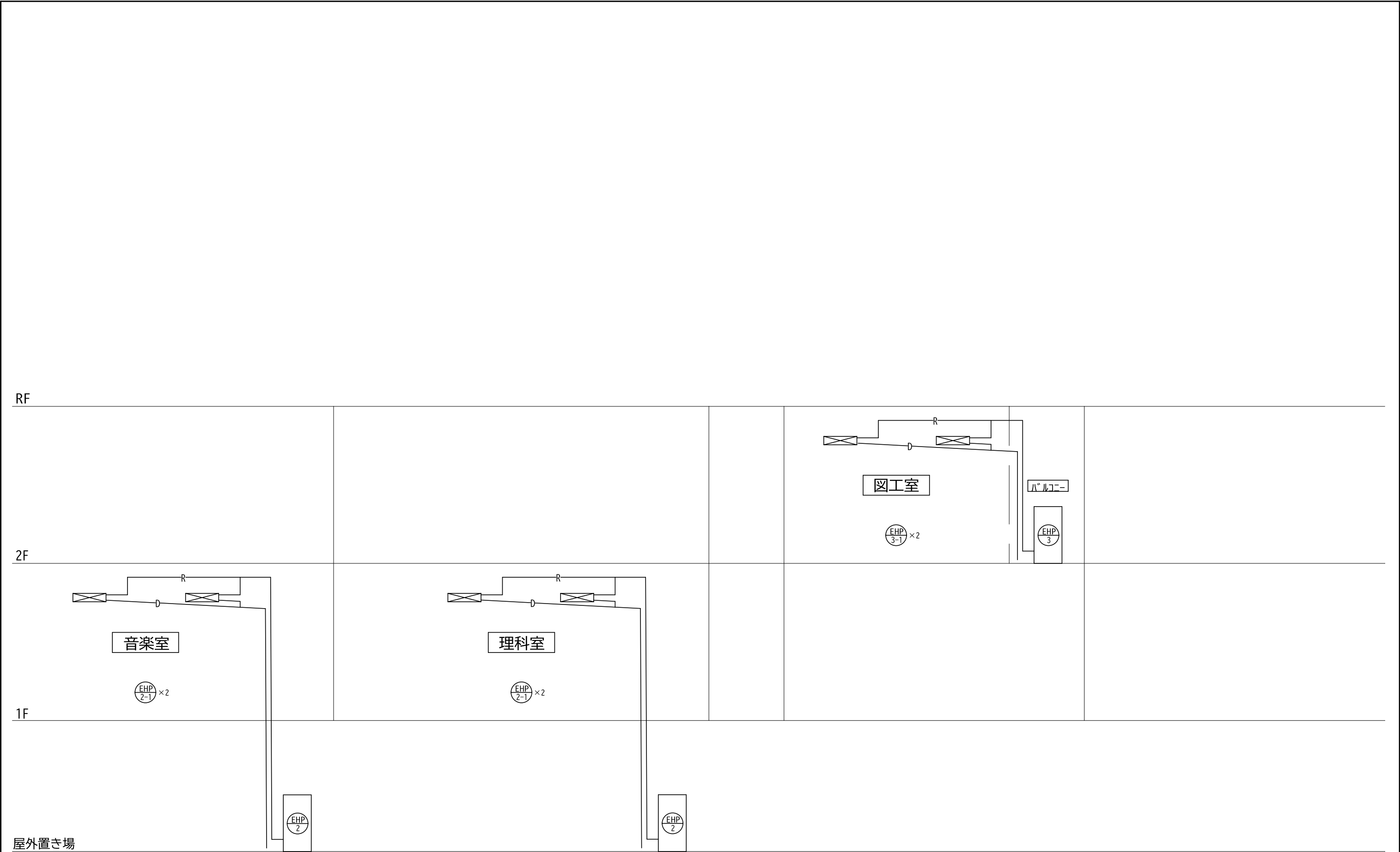
施 工 標 準 図

屋外露出 <table><tr><td>合成樹脂が*</td></tr><tr><td>ビニル粘着テープ ※1</td></tr><tr><td>(1mにつき1箇所以上2回巻締め)</td></tr><tr><td>断熱材被覆銅管</td></tr></table>  注) 制御線、アース線及び動力線は必要に応じ入れるものとする。 ※1 電気絶縁用ポリ塩化ビニルテープ (t=0.2mm)	合成樹脂が*	ビニル粘着テープ ※1	(1mにつき1箇所以上2回巻締め)	断熱材被覆銅管	屋内露出 <table><tr><td>合成樹脂が*</td></tr><tr><td>ビニル粘着テープ ※1</td></tr><tr><td>(1mにつき1箇所以上2回巻締め)</td></tr><tr><td>断熱材被覆銅管</td></tr></table>  注) 制御線、アース線及び動力線は必要に応じ入れるものとする。 ※1 電気絶縁用ポリ塩化ビニルテープ (t=0.2mm)	合成樹脂が*	ビニル粘着テープ ※1	(1mにつき1箇所以上2回巻締め)	断熱材被覆銅管	冷媒配管支持標準図 
合成樹脂が*										
ビニル粘着テープ ※1										
(1mにつき1箇所以上2回巻締め)										
断熱材被覆銅管										
合成樹脂が*										
ビニル粘着テープ ※1										
(1mにつき1箇所以上2回巻締め)										
断熱材被覆銅管										
屋外冷媒配管保温標準図 (参考図)	屋内冷媒配管保温標準図 (参考図)	冷媒配管支持標準図								

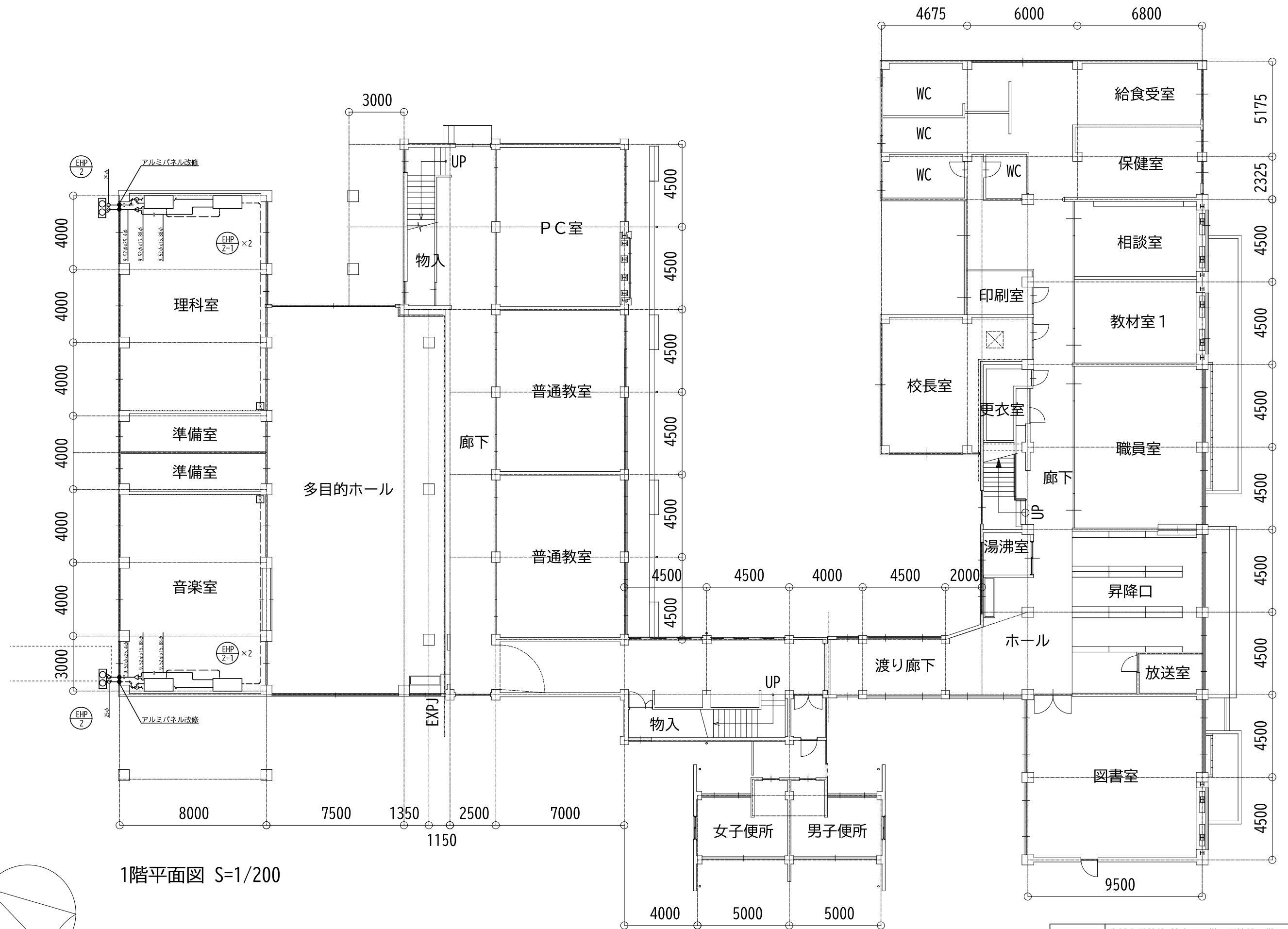
注記

2. パッケージエアコンの渡り配線、金物共とする。配線は本工事とする。
3. パッケージ室内機は全て防振吊り金物とする。
4. 室内機と室外機の渡り配線は冷媒管共巻きとする。
5. 空調機の能力は、JIS条件時能力を示し、冷媒はR32とする。
6. 機器の消費電力・冷媒管サイズ・風量等は参考値とし、メーカー標準仕様とする。
7. 予備部品は本工事とし、基礎ボルトはSUS製とする。
8. 貫通部はパテ処理とし、屋内・屋外の冷媒管のカバーは施工標準図による。

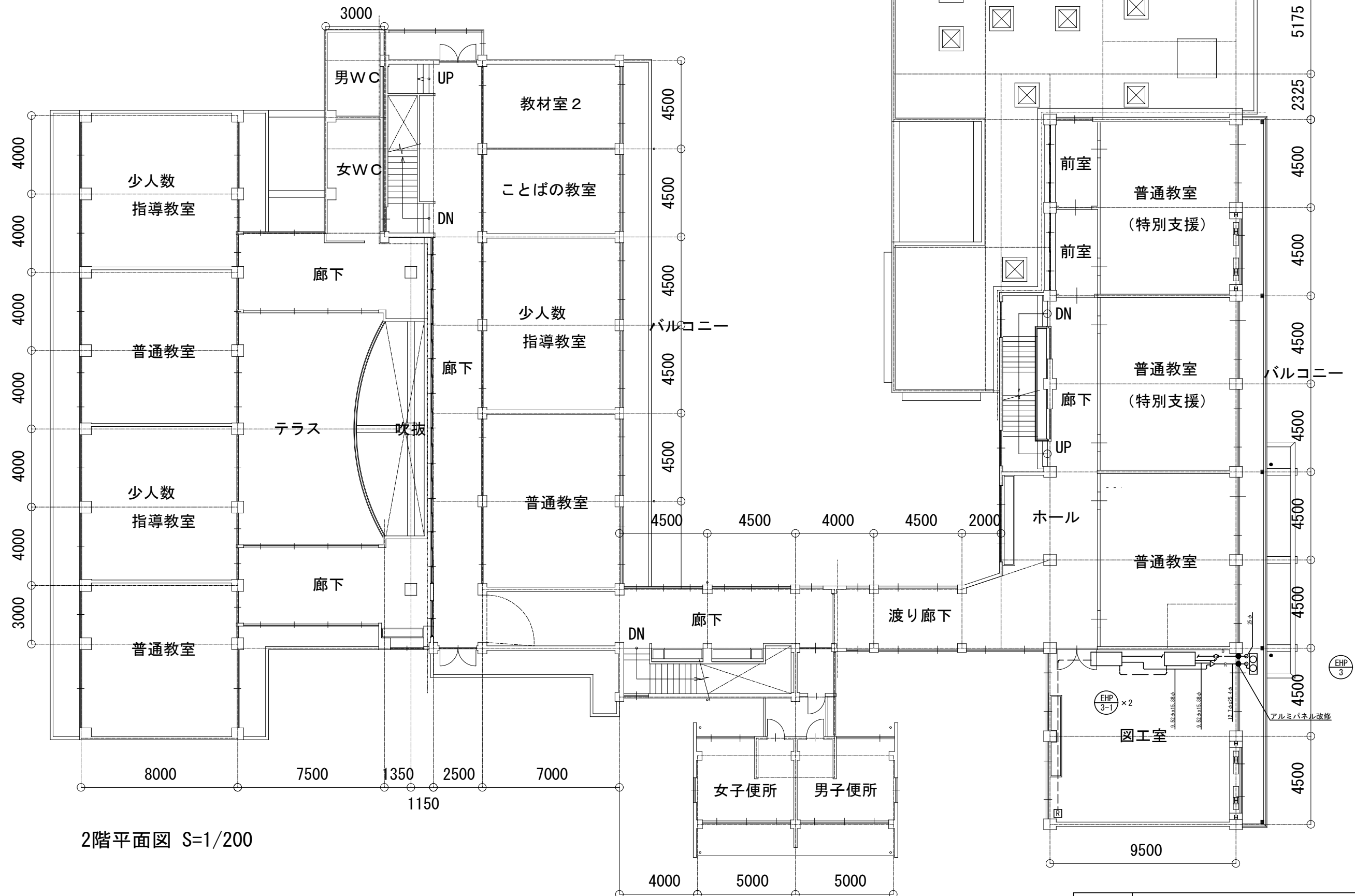
工 事 名	本城小学校外2校空調設備設置機械設備工事			
図 面 名	空調設備 機器表 (豊里小学校)			図面番号
タティモ合同会社 建物研究所	一級建築士 第394648号 長谷川皓大	検 図	製 図	M-34



工 事 名	本城小学校外2校空調設備設置機械設備工事			
図 面 名	空調設備 系統図（豊里小学校）			図面番号
タティモ合同会社 建物研究所		一級建築士 第394648号 長谷川皓大		検 図 製 図
				M-35



工 事 名	本城小学校外2校空調設備設置機械設備工事		
図 面 名	空調設備 平面図－１（豊里小学校）		図面番号
タティモ合同会社 建物研究所	一級建築士 第394648号 長谷川皓大	検 図 製 図	M-36



工 事 名	本城小学校外2校空調設備設置機械設備工事			
図 面 名	空調設備 平面図－2（豊里小学校）			図面番号
タテモ合同会社 建物研究所	一級建築士 第394648号 長谷川皓大	検 図	製 図	M-37